

自動車損害賠償責任保険後遺障害診断書

氏名	鈴木 太郎		性別	男・女
生年月日	明・大 平 22年 10月 5日 (53歳)			
住所	福岡市 00区 ΔΔ 1-1-1			
職業	会社員			
受傷日時	平成 22年 9月 15日	症状固定日	平成 23年 2月 28日	
当院入院期間	自 年 月 日 () 日間	当院通院期間	自 平成 22年 9月 16日 実治療日数 平成 23年 2月 28日 (105) 日	
傷病名	頸椎捻挫	既存障害	今回事故以前の精神・身体障害：有・無 (部位・症状・程度)	
自覚症状	左頸部痛・頸肉節周辺の痛み			
各部位の後遺障害の内容 (各部位の障害について、該当項目や有・無に○印をつけ①の欄を用いて検査値等を記入してください。)				
① 他覚症状および神経の検査結果	<p>知覚・反射・筋力・筋萎縮など神経学的所見や知能テスト・心理テストなど精神機能検査の結果も記入してください X-P・CT・EEGなどについても具体的に記入してください 眼・耳・四肢に機能障害がある場合もこの欄を利用して、原因となる他覚的所見を記入してください</p> <p>感覚障害なし 筋力低下なし X-P 頸椎、脱臼、骨折なし</p> 			
② 胸腹部臓器の障害	各臓器の機能低下の程度と具体的症状を記入してください 生化学検査・血液学的検査などの成績はこの欄に簡記するか検査表を添付してください			
③ 眼球・眼瞼の障害	視力		調節機能	
	裸眼	矯正	近点距離・遠点距離	調節力
	右		cm	cm () D
左		cm	cm () D	
眼球運動	注視野障害 (全方向1/2以上の障害)		複視	イ.正面視 ロ.左右上下視
眼症状の原因となる前眼部・中間透光体・眼底などの他覚的所見を①の欄に記入してください (図示してください)				

◆ 記入にあたってのお願い
 1. この用紙は、自動車損害賠償責任保険における後遺障害認定のためのものです。交通事故に起因した精神・身体障害とその程度について、できるだけ詳しく記入してください。
 2. 歯牙障害については、歯科後遺障害診断書を使用してください。
 3. 後遺障害の等級は記入しないでください。

④ 聴力と耳介の障害	オーディオグラムを添付してください				耳介の欠損	⑤ 鼻の障害	⑦ 醜状障害(採皮痕を含む)	
	イ. 感音性難聴(右・左) ロ. 伝音性難聴(右・左) ハ. 混合性難聴(右・左)		聴力表示 イ. 聴力レベル ロ. 聴力損失		イ. 耳介の1/2以上 ロ. 耳介の1/2未満 (右の欄に図示してください)	イ. 鼻軟骨部の欠損 (右の欄に図示してください) ロ. 鼻呼吸困難 ハ. 嗅覚脱失 ニ. 嗅覚減退	1. 外ばう イ. 頭部 ロ. 顔面部 ハ. 頸部 2. 上肢 3. 下肢 4. その他	
	検査日	6分平均	最高明瞭度		耳鳴	⑥ そしゃく・言語の障害	(大きさ、形態等を図示してください)	
	第1回	右	dB	dB				%
第2回	左	dB	dB	%				
第3回	右	dB	dB	%	右・左	原因と程度(摂食可能な食物、発音不能な語音などを左面①欄に記入してください)		
⑧ 脊柱の障害	圧迫骨折・脱臼(椎弓切除・固定術を含む)の部位				運動障害	⑨ 体幹骨の変形	イ. 鎖骨 ロ. 肋骨 ハ. 肋骨 (裸体になってわかる程度) X-Pを添付してください	
	イ. 頸椎部		ロ. 胸腰椎部		前屈 30度 後屈 20度 右屈 20度 左屈 20度 右回旋 45度 左回旋 20度	荷重機能障害 常時コルセット装用の必要性 有・無		
	X-Pを添付してください							
	短縮				右下肢長 cm 左下肢長 cm	(部位と原因)	イ. 板関節 ロ. 変形癒合 (部位)	
⑩ 上肢・下肢および手指・足指の障害	上肢		下肢		手		足	
	右	左	右	左	右	左	右	左
	欠損(離断部位を図示)							
⑪ 関節機能障害(健側患側とも記入してください)	関節名	運動の種類	他動	自動	関節名	運動の種類	他動	自動
			右	左	右	左	右	左
			度	度	度	度	度	度
障害内容の増悪・緩解の見通しなどについて記入してください								
上記のとおり診断いたします					所在地 〒000-ΔΔΔ 福岡県 00市 ΔΔ 1-1-1 名称 00整形外科 診断日 平成 23年 2月 28日 診断書発行日 平成 23年 3月 5日 診療科 医師氏名 ΔΔ ΔΔ (印)			